



学校だより

# えのき

NO. 11 (39)



〈めざす児童像〉  
笑顔で なかのよい子  
のびのび たくましい子  
気づき 考える子

令和3年1月8日

皆野町立皆野小学校

## 謹賀新年



新年となり、あらゆるものが新しく感じられ、今年がより良い1年となるよう決意を新たにしたところではないでしょうか。私たち職員も一丸となって、子供たちや保護者・地域の皆様にいっそう愛される皆小として再スタートしたいと思えます。引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、子どもたち一人一人が、新年に向けて誓いをたてましたが、『温故知新』という言葉があるように、今までの自分を振り返るとともに、新たな自分に向かっていくことが大切であると感ずます。2学期の終業式に児童会を代表して6年生の 荻原 裕樹 さんが2学期に頑張ったことそして3学期に向けての決意を発表してくれました。以下にその文章を掲載します。

代表委員としてすごした2学期

荻原 裕樹

ぼくは、代表委員の副会長として2学期を過ごしました。コロナウイルスの関係で代表委員の仕事は少なかったですが、その中でもぼくが一番頑張ったことは、クラスのみんなに代表委員として覚えてもらおうことです。初めは、担任の先生に「自覚がない。」と言われました。ぼくは今まで授業中おしゃべりしたり、態度が良くなかったですが、先生の話をしっかり聞くことにしました。先生が出張でない時は、もう一人の代表委員と相談し考えて、みんなに指示を出したり、自分がクラスの代表としてしっかりしたいといけないと思ひ、手本となるように頑張りました。

今年にはコロナウイルスが世界中の大きな問題となっていて第三波が来ていますが、皆小のみんなはコロナに負けず元気に学校にきています。ぼくはそこが皆小の良いところだと思ひます。学校でも家でも、例えば塾や習い事でもみんながしっかり対策をしてくれているので、学校に来ることができているのだと思ひます。明日から冬休みですが、コロナウイルスがなくなつたわけではないので、消毒・手洗い・うがいを徹底して冬休みを過ごしましょう。元気に登校できるように体調に気を付けてください。

最後に3学期に代表委員として力を入れたいこと、全校の皆さんに力を入れてほしいことは、今まで通りにみんなが元気に学校生活を過ごしてほしいということです。コロナウイルスが始まった頃よりも意識が薄くなつてはいませんか？最近、感染者がまた増えてきているので、今までよりももっと気を付けてほしいと思ひます。ぼくはコロナウイルスを出さないように、みんなにも声をかけていきたいです。自分もかからないように気を付けていきたいです。

「丑」という字は、手の指を曲げて物を握る様子を表した象形文字で、「結ぶ」や「つかむ」という意味があります。丑年には、先を急がず目前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくと云われています。

また、学問の神様の菅原道真を祀る天満宮には丑（牛）の像が置かれています。なぜ牛なのか、様々な説がありますが、黙々と働く牛の様子は道真の教えにも通ずるものがあり、牛を神の使いとして祀っているのだそうです。

大宰府天満宮や京都の北野天神にはいくつか牛の像がありますが、どの牛も座り込んだ姿をしています。この牛の像は、「撫でると願いが叶う」ともいわれ「撫で牛」「願い牛」などとも呼ばれています。

この3学期は、言い換えれば『令和3年度0学期』ともいえる大切な3ヵ月でもあります。丑年にあやかって、今年がよい一年となるように、まずは力を貯めていきましょう。

